

東広島市・広島大学教育ビジョン研究センター連携
「広域交流型オンライン 総合・特活型」2024年 11月実施計画

1. 目的

広島大学教育ビジョン研究センターと東広島市教育委員会の連携によって外国人の増加する東広島市の多文化共生の視点から見たふるさと学習、地域学習を通して、児童の主体的、対話的で深い学びを創造する。

2. 実施内容

- 市内の小学校、学習対象となる地域・施設と広島大学がオンラインでつながって、遠隔授業を行う。
- 遠隔授業の全体進行は、大学の担当者（T1）が行う。各教室での指導は、各学級の担任等（T2）が行う。
- 参加校には大学より学生サポートスタッフ（T3）を派遣し、環境設営、授業運営支援、教師・児童のICTの活用支援等を行う。
- 遠隔授業では、児童が自分のタブレットから参加できる機会を設ける。

3. 授業の日時および参加予定校

- 2024年11月20日（水）3時間目：10：25～11：10，4時間目：11：15～12：00
- 東広島市立東西条小5年(86名)、中黒瀬小3年(80名)、福富小3・4年(26名)、三津小5年(18名)、SSR、FS、広島市立基町小5年（18名）、スクールS

4. 単元名および目標

- 単元名 「外国の言葉が上手」とはどういうこと？ ～みんなは外国語、話し上手？ 聞き上手？～
- オンライン学習の単元目標

A ことばの見方・考え方

外国語を用いるときに「正確さ」だけでなく、それ以上に「適切さ」の観点をもつことで、外国語を聞いたり話したりする力につなげる

【外国語科との関連】

外国語でのコミュニケーション（5年）、外国語で聞いたり話したりする（3年、4年、6年）など

B 多様な人とのコミュニケーション

「適切さ」の観点をもって外国語を話したり聞いたりすることで、寛容性をもって多様な言語的文化的な背景をもった人とのコミュニケーションを行うことができ、異文化への接触や交流を積極的に行う視点をもつことができる。

【外国語活動や外国語科、道徳等との関連】

言語や文化について体験的な理解を図る（外国語3年、4年）言語や文化についての理解、他者への配慮（外国語3年、4年、5年、6年）世界の人々とつながるために（5年道徳）、世界の人々と生きる（6年道徳）、日本とつながりの深い国々（6年社会）など。

- ・赤色：タブレットの活用場面
- ・黄色：個別学級の活動場面
- ・緑色：学級間の交流場面
- ・青色：動画場面
- ・PCの基本操作：手を挙げるボタンを押す→発表時のミュート解除→マイクに向かってはっきり大きく話す
- ・発表の基本過程：教師と児童でやりとり→発表者を決める→カメラ前でスタンバイ→同じ答えが出たら戻らせる

○ 本時の目標

- ・1/2時：外国語を話す人たちはいつも自信をもって正しく話しているわけではないことを知り、「上手に話す」の意味を考えることができる。
- ・2/2時：「外国語を上手に話す」ことを「聞き手の姿勢」から考えることができる。

5. 授業展開

T1 (南浦・草原)の動き	予想される児童の反応	T2 (学級担任)の動き	ホスト, 中継先, T3 (補助者)の動き
<p>導入：外国語をどれくらい話せる？</p> <p>Q1. みんなの周りの大人の人は、「外国語」をどのくらい話せるのかな？ 【全20分】</p> <p>(1) ALTの先生は何語を話せるのか、自信はあるか聞いてみよう。(5分)</p> <p>(2) みんなの担任の先生は何語を話せるのか、自信はあるか、それぞれのクラスで聞いてみよう。(5分)</p> <p>(3) お互いの学校で紹介しよう。(5分) ・全クラスは恐らく難しいので、3校3クラス程度で紹介する。 (学年をばらけて)</p> <p>Q2. みんなは英語を話すことに自信はありますか？ (5分) 【のん太アンケート①】 (4段階で答えよう) ・保護者(外部の人)の結果にも触れる。また基町小の紹介も行う。(事前アンケートの結果も活用)</p>	<p>・□□先生は○○語を勉強したことがあるよ！</p> <p>・でも自信はぜんぜんないみたい。</p> <p>・外国語専科の△△先生は、英語をペラペラしゃべれるよ。</p> <p>・外国語を知っていても、自信がない先生が多いみたい。</p> <p>・タブレット【のん太アンケート①】に答える</p> <p>・勉強はしている(これからするも含む)けれど、あまり自信はないなあ。</p> <p>・大人も「自信がある」わけではないな。</p> <p>・外国につながる子どもでも英語が自信ある子どもそうでない子どもいるよね。</p>	<p>・児童端末をネット接続させる。</p> <p>・ディスプレイの音声を調整する</p> <p>・ぜんぜん自信はなくてもいいので、少しでも勉強したことがある、知っている外国語をできるだけたくさん挙げる。</p> <p>・自信はないものは「ない！」とはっきり伝える</p> <p>・クラスで用意したカードに先生の勉強したことがある外国語と自信を子どもに書き込ませる。</p> <p>・カードをもった子どもをカメラの前へ(T1が適宜取りあげる)</p> <p>・のん太アンケート①を書き込んでいるかを確認する</p> <p>・T2はめあてを黒板に書く</p>	<p>・挨拶→電源・音声・カメラテスト</p> <p>・OP動画の再生(開始12分前)</p> <p>・はじめに音声/映像状態をチェック</p> <p>・資料提示を支援、視認のチェック</p> <p>・音声/映像状態をチェック</p> <p>●【動画①】ALTが話している動画例</p> <div data-bbox="1664 655 2047 887" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○○小 ○—○ ○○先生</p> <p>()語 ♀・◎・○・△</p> <p>()語 ♀・◎・○・△</p> <p>()語 ♀・◎・○・△</p> </div> <p>・カードがカメラに写るように、発表する子どもを前に出しながらスポットライト</p> <p>アンケートは基町小版と東広島版で回答先を別にする。</p>

【先生からの挑戦状! (草原先生から) → 1時間目のめあて】 外国語の話し上手になろう!

展開1：外国語の話し上手ってどういうこと？新幹線の外国語放送を見てみよう【全25分】

- (1) 2つの英語の放送の違いを聞き取ろう。(5分)
 (話し方・話している人)
 →新幹線では、英語を話す人の自動放送と、車掌さんがその場で話す放送の2つがあるね。

Q3. 新幹線の外国語放送は、次のどちらがよいと思いますか。

【のん太アンケート②】(5分)

- ・どうしてそう思ったのかな。
- (2) すらすらの自動音声があるのに、わざわざ車掌さんの放送を使うようにした理由を考えよう。
 (動画を見て、練習をしている様子から考える。)(動画3分+5分)
- (3) 放送を聞いたお客さんの気持ちを考えよう。(動画2分+5分)
 ・お客さんはどんなところが「よかった」と言っているのだろうか？

- ・最初の方は綺麗なすらすら。2番目のほうはたどたどしい。
- ・最初の方は英語を話す人の自動放送かな？ 2番目は車掌さんがその場で話しているのかな？

- ・自動音声のほうがすらすらして聞いてやすいと思ったから。

- ・緊急対応のため。
- ・お客さんへ感謝を直接伝えたいから。
- ・一生懸命がんばっている気持ちを分かってもらいたいから。
- ・お客さんのことを考えて、自分の気持ちも伝えようとしているからかな。

- ・思っているよりも評判がいいみたい。
- ・自分たちに話している感じがするのかな？

- ・話し方が上手かどうか注目させ、話している様子を想像させる。
- ・板書で2つの音声の「違い」をまとめる。

- ・のん太アンケート②を書き込んでいるかを確認する
- ・直感的に評価させる
- ・数名の児童に理由を答えてもらう。

- ・なぜJRではたどたどしい音声をアナウンスに使っているのかを、各学級で理由を考える。
- ・考えをZOOM越しに発表し合う

●【動画②】YouTubeのJRの車掌さんの動画の自動音声と放送部分を流す(音声のみ)。

- ・音声/映像状態のチェック

- ・指名された学級をスポットライト

●【動画③】YouTubeのJRの車掌さんの練習している部分を流す。

- ・指名された学級をスポットライト
- ・音声/映像状態のチェック

●【動画④】YouTubeのJRの車掌さんの肉声放送部分を聞いたオーストラリアから来た人の反応を見る

【まとめ①(草原先生から)】 外国語の「話し上手」には、どうも2つくらいの意味があるみたいだ。「すらすら音声」もいけれど「たどたどしい音声」にもそれぞれに大切さがあるみたいだね。どっちのほうがいいのだろう。4時間目も、もう少し考えて見よう。

--- 休憩 ---

<p>展開2：ALTの先生は、日本語を話すときにどんな気持ちかな？【全8分】</p> <p>Q4. 最初に来てきたALTの先生は、外国語の日本語を話すとき、どんな気持ちなんだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本人と日本語で話すときの方が怖い」のはなぜだろう？(4分) ・「怖い」の理由について、ALTさんの話を聞いてみよう。(4分) ・ALTさんはどんなことが「怖い」と言っていたかな？ →緊張をやらわげるためには「聞く側」の視点も大事そうだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝わらないことが不安だから。 ・相手がどんな人かわからないから。 ・正しい日本語が分からないから怖いな。 ・聞いている人が「んー？」ってなると怖いのかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで〈怖い〉の理由を想像して、話し合う ・クラスごとに意見を交換する ・クラスでALTさんの〈怖い〉の理由からわかったことを話し合う ・クラスごとに意見を交換する 	<ul style="list-style-type: none"> ●【動画⑤】ALTが「外国人同士で日本語を使うより、日本人に対して日本語を使う方が怖い」という話を聞く。 ・【動画⑤】の0:55（怖いのはなぜ？）でストップ ・指名された学級をスポットライト ●【動画⑤】の続きを再生 ・指名された学級をスポットライト
<p>【先生からの挑戦状! (草原先生から) →4時間目のめあて】 外国語の聞き上手になろう!</p>			
<p>展開3：基町小学校の校内放送を聞いて、聞き上手になろう【全22分】</p> <p>(1) 外国から来たばかりの友だちが放送委員の仕事をしているよ。その様子を見てみよう。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基町小で放送をした〇〇さん、どんな気持ちで放送したのかな？ <p>Q5. 緊張するけれどがんばれるのはどうしてだろう？ (9分) (東広島→基町小の順に発表)</p> <p>(2) 校長先生のお話を聞いてみよう(中継5分)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本からきたばかりでも放送ができるのはなぜかな？(3分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(基町小〇〇さん 例↓) ドキドキしたけれど、がんばった。 ・(東広島) 応援してくれているから？ ・(基町小) 実際、あまり気にしないで聞いていた。それがふつうだった。 ・(校長先生) 周りの声が自信になる。また、「来たばかりの子も放送をして当たり前」「すらすらばかりが大事じゃない」という雰囲気ができてきた。 ・「すらすらじゃなくてもふつう」があるからだ。車掌さんの放送も同じ？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・(東広島) どうしてがんばれるのかをクラスごとに話し合う。 ・(基町小) 自分たちはどう思っているかを話し合う。 ・校長先生のお話の要点を板書する ・校長先生のお話からわかったことを、クラス間で意見交換する。(基町小) 自分たちの学校で行っている取り組みの意味を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●【動画⑥】基町小学校の下校放送で外国から来て間もない子どもも放送をしている ・放送をした〇〇さんにスポットライト ・指名された学級をスポットライト ●【中継】基町小学校の校長先生のお話。 ・指名された学級をスポットライト

【まとめ②(草原先生から)】 「聞く側の姿勢」って大事なんだね。それがあると、話すほうもすらすらじゃなくても、話す勇気がわいてきそう。

<p>Q6. これまでの学習から、もういちど聞きます。新幹線の外国語放送は、次のどちらがよいと思いますか。</p> <p>・【のん太アンケート③】【全5分】(2分)</p> <p>・どうしてそう思った(どっちも大事と思った)のかな？(3分)</p> <p>展開4：外国語でコミュニケーションをとるときに、何が大切なのかな？【全10分】</p> <p>(1) 標語をつくってみよう。「外国語の話し上手とはく　　」である」「外国語の聞き上手とはく　　」(5分)</p> <p>・「話し上手」を考えるクラス、「聞き上手」を考えるクラスに分かれて、標語をつくろう。</p> <p>・それぞれ標語を発表しよう(5分)</p> <p>【まとめ③(草原先生から)】 外国語の「話し上手」「聞き上手」。私たちはついつい、「正しくすらすら」ばかりを考えてしまう。でも、今日のように「たどたどしくても相手を思う」ということも同じかそれ以上に大事なんだね。これからいろいろな外国語をもっともっと学んでいく。いろいろな「上手さ」を大切にできるといいね。</p>	<p>②と同じ発問をして、どちらもを選択肢に加える。</p> <p>・基町子どもたちも「すらすら話していなくてもふつうだ。がんばって伝えようとしている。」と言っていた。</p> <p>・例：「話し上手とは相手を思って話すことである。」</p> <p>・例：「聞き上手とは相手の気持ちを考えられることである。」</p>	<p>・のん太アンケート③に答えているかを確認する</p> <p>・どうしてそう考えたのか、理由をマイクに向かって話す。</p> <p>・話し上手担当クラス・聞き上手担当クラスごとにく　　」内を考える。</p> <p>・クラスごとに発表しあう。</p>	<p>・指名された学級をスポットライト</p> <p>・指名された学級をスポットライト</p>
--	--	--	---

6. 資料(後日、大学から各学校に郵送します)

- ・担任の先生の紹介カード (A3 横)・標語カード (A3 横)
- ・ワークシート (A4 縦)

<ul style="list-style-type: none"> ・予習を兼ねて、事前アンケートに取り組みさせてください ・第1時(3時間目) 新幹線の放送から、「英語を話す人の自動音声」「車掌さんがその場で話す」を比べます。 ・第2時(4時間目) 基町小学校の校内放送から、「聞く側の姿勢」を考えます。第1時の「車掌さんのたどたどしいけど相手を思う」と「基町小のく子どもたちにとってはあたりまえ・ふつう」を関連付けるようにしてください。 ・板書はクラスの実態に応じて、アレンジをお願いします。
